



本定例会での一般質問は、12月12日から14日までの3日間行われ、12人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。

原稿は議員本人によるものです。

# 市政を

# ス パ ー ク 問 う

## 一 般 質 問

### 自治体病院としての 筑後市立病院の役割は

矢加部茂晴 議員

**問** 筑後市立病院の今年度の経営状況は。また、病院のあり方を検討していくためのこれからの取り組みは。

病院総務課長 4月から10月までの状況を踏まえ、今年度の決算の見込みは、約4,000万円程度の黒字を見込めると考えている。

市長公室長 公的関与のあり方調査特別検討委員会の病院部会で本年度中に一定の方向性を出す。さらに外部の専門家や市民の方々を入れた中で議論をしてもらって、市立病院の経営のあり方等を含めて決定する。

### 医療・保健・福祉と 病院の連携を

**問** 市立病院は医療資源の宝庫であり、市民の財産であると考えられる。それを踏まえて、本市の医療政策の中で市立病院を位置づける視点が必要ではないか。病院連携、病診連携と言いつが、病院と福祉の連携、例えば健康づくり課や福祉事務所

等との連携を考えるべきだ。  
**病院長** 筑後地区の中核病院として、周辺の病院、診療所との連携については、紹介患者・逆紹介患者の状況を見れば非常にスムーズにしている。また、一つの事業として、病院と市が手を組んで、市民の健康増進のための考え方をしているかなければならないと思う。  
**問** 市長は9月議会で、病院長をトップとする市立病院は経営をするところ、市長を代表とする行政は財政的な後ろ盾をすることで答弁されている。今こそ経営改善が求められている中、開設者と管理者が一体となって取り組むべきだ。  
**市長** 病院のあり方について積極的に病院と行政とで議論をしながら、市民のニーズにこたえていきたい。



筑後市立病院